

学校応援団の皆様、ありがとうございます。



芋の苗植え

6月1日(火) 3校時に全校児童で、芋の苗植えを行いました。学校応援団でもあり、学校運営協議会の委員でもある大田黒裕樹さんにご指導いただき、全校児童で芋の苗植えができました。大田黒さんに作っていただいた学校園のマルチを貼った畝に、学級ごとに植えました。

大田黒さん、お忙しい中、大変ありがとうございました。

また、6月3日(木)の4校時には、6年生の国語「防災ポスターを書こう」の授業で、学校応援団で、学校運営協議会の委員でもある内村勇治さんと大津町消防団第一分団長の阪田英二さんをゲストティーチャーにお招きし、防災のお話しをしていただきました。5年前の熊本地震の時の対応や地域の様子などを教えていただき、子どもたちも身に迫る思いで聞いていました。仮設住宅のことなどについて児童からの質問にも丁寧に答えていただき、大変勉強になりました。



6年生国語「防災ポスターを書こう」



また、この日の午後には、プール掃除のときに、高圧洗浄機や消防車からのホースによる洗浄で、子どもたちが掃除した後の溜まった堆積物などを、きれいにしていただきました。毎年、積もった堆積物の除去に苦労していましたので、大変助かりました。内村さん、阪田さん、大変ありがとうございました。

第1回全校集会をリモートで行いました。



6月4日（金）の朝の時間に、リモートによる全校集会を行いました。

本校の教育目標は、「夢を持ち、認め合い、学び合い、励まし合う子どもの育成」です。今回は、「夢を持ち」について、校長講話を行いました。子どもたちは、真剣に聞いてくれました。次のような内容です。

「私は、小学校のときの文集を見つけました。小学校4年生のときの文集です。そのとき、将来

の夢を書いていました。『ぼくは、パイロットか宇宙飛行士になる』と書いていました。その後、私は中学生になりました。中学校2年生のとき、将来の夢が変わりました。

数学がとてもおもしろくて、数学の勉強が大好きになりました。将来、数学の先生になりたいと思いました。数学とは、小学校では、算数のことです。だから、将来学校の先生になるために、一生懸命勉強しました。

勉強が難しくてくじけそうになったことがたくさんありましたが、そんなときも歯を食いしばって、『将来、絶対先生になる』という強い気持ちで勉強しました。そうやって勉強していると、面白いことがたくさん見えてきました。

世の中には、いろいろなものが売られています。それには、すべて値段がついています。それは、お金で買えますね。お金は、1円玉、5円玉、10円玉、100円玉、500円玉、1000円札、2000円札、5000円札、10000円札。そのお金を使って物を買ったり、売ったりができます。いくらか払うと、いくらかおつりがきます。大安売り。いつもなら、1000円だったものが3割引。いつもより安くなりますね。

社会で生きていく上で、数字は必ずつきまといまいます。その数字の勉強って、本当におもしろいなと思いました。数字はお金だけではありません。人数や物の数、物の大きさや重さ、日にちや時間など、たくさん使われています。しかも、たしたり、ひいたり、かけたり、わったり。それで増えたり減ったりしていきます。まるで、生き物みたいです。そんな数字について勉強を深め、学校の先生になりたいと思い、一所懸命勉強しました。

今お話ししたことは、校長先生の夢についてです。皆さんには、皆さんの夢があると思います。一人一人違う夢。その夢を、将来、本当のことにするために、皆さんは、毎日、学校での勉強を頑張っています。

大津町の小中学生はみんな、毎年、『夢作文』を書いています。皆さんも、自分の夢を持ち、そのために、毎日、どんなことを勉強し、頑張っているか、作文に書いてくださいね。そのためには、日頃から考えておかねばなりません。世の中には、どんな仕事があり、自分はどんな道に進みたいのか。どんな勉強が大事なのかなど。おうちの方や担任の先生と相談しながら、すばらしい夢作文を書いて、日頃の学校の勉強に生かしていきましょう。」是非、ご家庭でも、お子様と将来の夢についてお話ししてみてください。